

須賀川労働基準協会 通信(24年1月)

平成24年を迎えました。穏やかな3が日で、まずは順調なスタートを切ることができたと思います。例年正月には今年の抱負や希望などがTVなどで放送されますが、今年ほど「今年はいいい年になって欲しい」という言葉が多く聞かれた年はなかったと思います。今年はずっと去年のひどさの倍返しでいいことがあって欲しいと思います。

協会の仕事は5日から開始し、6日には「安全祈願祭」と「役員新年会」を開催いたしました。今年もよろしくお願いいたします。

＜協会の最近の活動報告＞

「安全祈願祭」を開催 1月6日

＜平成24年、協会活動開始＞

平成24年の活動の第一歩は今年も安全祈願祭と役員新年会からスタートいたしました。午後4時、須賀川市の神炊館神社に34名の皆さんにご参加いただきました。神主さんに御祈禱をしていただき、吉田会長が代表で玉串奉奠を行い全員で今年一年の管内の無事故を祈念いたしました。

その後、ホテル虎屋で新年役員会を開催し、須賀川労働基準監督署の針生署長から「労災事故」の件数が大幅に増加していること、メンタルヘルスの必要性、除染作業に関する法整備の件のお話をいただきました。役員会終了後懇親会に移り、改めて新年の挨拶と相互の懇親を図りました。



「工場見学会」を開催 12月9日

協会活動の中核を担っている、「安全衛生部会」並びに「労務労災部会」メンバーによる工場見学会を実施いたしました。今回は(株)福島LIXIL製作所さんのご協力で、須賀川市前田川の工場を見学させていただきました。

工場の見学前に、会社概要及び諸活動の説明を受けました。LIXILさんでは『TOSAC』と命名された「生産部門全体」で独自の安全で快適な職場づくりのための活動を展開しております。その後、敷地10万坪(東京ドーム7個分)に展開された工場内を見学いたしました。工場内は建材など木工加工が中心の仕事で、自動化され、ロボット化された設備が数多く見られ、リミットスイッチなどで管理された安全装置や木の切りくず等の吸引装置が随所に設置され、安全と衛生に対する活動の成果を数多く目にしました。さすがに管理レベルが高いという印象を受けました。

また、工場内の事務部門の方が全員起立してお迎えをいただき、規律ある職場、工場を気持ちよく見学させていただきました。



「安全衛生推進者養成講習」を開催 12月14日、15日



従業員が10名～49名の事業場においては『安全衛生推進者』を選任しなければなりません。50名超の事業場の「安全管理者」と「衛生管理者」、二人分の仕事を要求される『安全衛生推進者』になるための講習会です。推進者に要求される管理項目は幅広く、また責任も重い重要な役職になります。今回の講習には30名を超える受講生に参加いただき開催いたしました。

